

高知憲法速報

№154 2008. 4. 29
 発行：高知憲法会議事務局
 088-872-3406
 編集人 事務局 徳弘嘉孝

輝け日本国憲法！5・3県民のつどい

今年の憲法記念日集会は、第1部が高知センター合唱団によるステージ「ともに謳おう 希望のうた 人間のうた」第2部が今注目の憲法学者早稲田大学水島朝穂教授の講演「憲法とは何かを改めて問うー日本国憲法施行61年の日に土佐からー」で構成します。5月3日(土・祝)午後1時から3時半まで(予定)。会場は高知市文化プラザ「かるぽーと」大ホール。参加費は500円。高校生以下は無料。

福田内閣で憲法改悪の動きが遠のいたかのような論評もありますが、「海外派兵恒久法」制定の動きなど、決して楽観できる状況ではありません。憲法をめぐる複雑な動きについて、明快に語り論じる水島先生の話は聞き逃すことができません。誘い合わせご参加ください。会場で参加券の精算をいたします。

海外派兵恒久法 強まる動き 「4月24日赤旗」

自民党の山崎拓元副総裁は23日に東京都内で開かれた山崎派政策セミナーで講演し、自衛隊海外派兵恒久法(一般法)について、今通常国会会期末までに要綱をまとめ、秋の臨時国会で成立をはかるとのスケジュールを示しました。山崎氏は、自民党外交調査会長と一般法与党プロジェクトチーム座長を兼ねる立場から発言したものです。山崎氏は、石破茂防衛相から「早く進めてくださいと要請があった」と明かした上で、「5月の連休明けに公明党の賛同を得て与党プロジェクトチームを開き、6月15日の今国会会期末までに法案要綱をまとめ、夏休み中に法案化し、秋の臨時国会において処理する」と述べました。

恒久法成立後は、海外派兵する自衛隊が現在の特措法ではできない治安活動にも踏み込むなど、現在ある一連の自衛隊派兵特措法と比べても一段と憲法逸脱の内容を含む見通しです。そのため山崎氏は「政治構造を変えて衆参ネジレ現象をなくさなくてはいけない。でないとしたら法律を使って貢献できない。政界再編は必至だ。この法律ができる前の解散は困る」と述べ、恒久派兵態勢を支える政治基盤を構築するための政界再編の必要を強調しました。

自民、民主、公明、国民新各党の国防関係議員らで作る「新世紀の安全保障体制を確立する若手議員の会」が23日、国会の衆議院議員会館で総会を開きました。「一般法(派兵恒久法)を制定することは急務」「集団的自衛権に関する議論を深める」などとす

署名集約状況 4/29現在

会員団体名	署名目標	到達
県労連	20,000	3,976
県教組		1,133
高教組	10,000	221
私学教組		30
自治労連		2,668
県国公		2,145
福祉保育労	3,000	70
平和委員会	5,000	702
民青同盟		
新婦人	20,000	16,849
商工団体連合会	15,000	16,718
自由法曹団		
地域人権連		
高退協		100
治維同盟		
梅原憲作		
共産党県委員会	40,000	2,454
医労連		77
民医連		12,652
学習協		
山下道子法律事務所		
退教協		750
退婦教		3,340
農民組合		
その他		732
街頭署名		4,588
小計		69,205
母連		11,449
うち重複集約(報告)分		9,269
有権者過半数目標/到達合計	331,000	71,385
こうち九条の会街頭署名		6,477

る新方針を確認し、3年ぶりに活動を再開しました。総会後、民主党の前原誠司副代表は記者団に「恒久法について議論し、法案の骨子、中身についてお互いが意識を共有できるようにしたい」と発言。中谷元・自民党安全保障調査会長(元防衛庁長官)も「恒久法の議連案のようなものができればいい」と述べるなど、テロ特措法やイラク特措法の期限切れ(来年1月と7月)をにらんで、自衛隊の随時派兵と海外での武力行使に道を開く恒久法作りを進める考えを示しました。事務局確認では自民党72人、民主党34人、公明党4人など衆参合わせて110人以上の議員が参加。中谷、前原、上田勇(公明)の3氏が代表幹事に就任しました。

